

みなとぴあボランティアレター 第37号

新潟市歴史博物館 みなとぴあ/2018.11

歴史探訪特集！

8/24 歴史探訪(長岡～見附編)

今年、戊辰戦争から150年という節目の年にあたります。そこで、今年の歴史探訪では長岡と新潟における戊辰戦争ゆかりの地を巡りました。

第1回目は、長岡藩と新政府軍の激戦が繰り広げられた長岡市が舞台です。まず訪れたのは、長岡藩家老・河井継之助が岩村精一郎ら新政府軍と談判をした小千谷市の慈眼寺。ここでは、実際に談判が行われた部屋「会見の間」を見せていただくことができました。継之助と新政府軍がどこに座ってどのような内容を話していたのかを、当時の様子を想像しながら学ぶことができました。[写真①]

次に近くにある船岡公園へ行き、新政府軍の墓所を見学しました。ここには、199名の新政府軍の方々のお墓が安置されています。新政府軍といっても、代表的な薩摩藩や長州藩だけでなく、「山口藩」や「豊浦藩」などさまざまな藩の墓石が見受けられました。

そして、お昼は小千谷市の「東忠」という割烹料理屋さんでいただきました。ここでは、河井継之助が大好きだったというご飯の上にきざんだ沢庵を乗せた「沢庵飯」などを食べました。また、「東忠」さんには、継之助が小千谷談判の後、実際に食事を食べた「梅の間」という部屋が残されており、そちらも見学させていただきました。歴史を感じながらおいしいごはんを食べることができて、大満足でした！[写真②]



写真①



写真②



写真③

さて、午後からは榎峠・古戦場パークを車中から見学した後、司馬遼太郎の小説『峠』の記念碑へ向かいました。『峠』という作品は、河井継之助を主人公に長岡藩の戊辰戦争を描いた小説であり、北越戊辰戦争を世間に広めた作品でもあります。参加者たちの中にも『峠』を読んでいた方がおり、作品の話題で盛り上がりました。

その後は、信濃川の新政府軍上陸地、新政府軍が上陸してきたことを知らせた西福寺の「時の鐘」、継之助の墓がある栄涼寺を見学しました。栄涼寺には継之助だけでなく、戊辰戦争後長岡の復興に貢献した三島億二郎など多くの長岡藩士の墓が建てられています。参加者たちは、一つ一つの墓石を丁寧に観察していました。[写真③]

最後に訪れたのは、八丁沖古戦場と長岡戊辰伝承館です。長岡戊辰伝承館

は本来休館日でしたが、特別に開館してくださり、また館長さんが長岡での戊辰戦争について詳しく説明してくださいました。展示を見学しながらこれまで学んできたことの総復習ができました。

歴史探訪当日はかなり蒸し暑い日となりましたが、見学場所それぞれを丁寧に見学し、長岡戊辰戦争の具体的な経過を知ることができました。ガイド及び出欠確認やお金の管理をしてくださった幹事のみなさま、そして参加してくださったみなさま、本当にありがとうございました！



9/29 歴史探訪(太夫浜～関屋編)

2回目の歴史探訪では、新潟市の戊辰戦争ゆかりの地を巡りました。

最初に訪れたのは、南浜「海辺の森」太夫浜展望台です。ここからは、新政府軍が上陸した場所を見学しました。当時は、約1200人の新政府軍が太夫浜に上陸したと記録にあります。それを想像しながら見学すると、当時かなりの迫力であったことがわかります。〔写真①〕

次に、浜サンベを通り、あかしあ公園を見学後、西郷隆盛が滞在したという坂井家と石原倉右衛門「殉難遺蹟の碑」へ。坂井家は、西郷が滞陣していた当時の姿では残っていませんが、現在でも当地に家を構えており、その前に新潟市北地区歴史文化研究会さんが設置した説明看板がありました。また、その近くにある石原倉右衛門「殉難遺蹟の碑」付近は、倉右衛門が討ち取られた場所でもあります。当時の様子を想像し、参加者同士で感想を語りあったりもしました。〔写真②〕

その後、はなみずき公園、沼垂龍雲寺とまわり、お昼ご飯はピア Bandai の「瓢(ひさご)」さんで刺身定食をいただきました。どの刺身も新鮮で、またご飯とお味噌汁はおかわり自由とのことで、参加者たちもたくさんおかわりをしていました。〔写真③〕

午後からも盛りだくさんです。まず、かつてイギリス領事官であった勝楽寺、米沢軍本陣があった光林寺を巡り、次に新潟県護国神社へ行きました。護国神社には、戊辰戦争で亡くなった方の墓が同盟軍・新政府軍問わず建てられています。中でも、薩摩藩の墓石が他のものに比べ、かなり大きかったことが印象的でした。また、表面が削れ、文字が読めない墓石もあり、これはなぜなのかを参加者同士で話し合ったりもしました。

その後、関屋天満宮から色部長門追念碑までを歩きなが



写真①



写真②



写真③

ら、散策しました。この辺りは、米沢藩総督・色部長門が新政府軍に追い詰められ、退却する際に道を間違え、新政府軍と遭遇してしまった場所に位置します。長門がたどったルートを実際に歩くことで、当時の雰囲気を感じながら学ぶことができました。

最後に、念仏寺、金鉢山公園を巡り歴史探訪は終了です。台風が近づいていた影響からか午後は雨天となっていました。新潟市の戊辰戦争の経過について学ぶだけでなく、その意味についても考えてさせられる探訪になったのではないかと思います。ガイド及び出欠確認やお金の管理をしてくださった幹事のみなさま、そして参加してくださったみなさま、本当にありがとうございました！



7/22 暑気払い

7月22日(日)に暑気払いを古町の「柳都庵」さんで行いました。今回は、前館長である小林昌二先生、伊東祐之館長、小林隆幸副館長をお招きし、新旧館長・副館長勢揃いの会となりました。また、当館のボランティア活動を卒業された方にも集まっていたいただき、新旧ボランティアさんが集う貴重な機会ともなりました。司会進行及び出欠確認・お金の管理などをして下さった幹事のみなさま、そして参加して下さいましたみなさま、本当にありがとうございました！



暑気払いは、小林先生からひと言いただいた後、伊東館長の乾杯でスタート！
司会進行は、吉田幸二さんが務めて下さいました！



歴史のことやボランティアのことなど、さまざまな話題が飛び交っていました。



最後は、小林副館長の一本締めでお開きとなりました！

9/16 菩提寺山フェスティバル

9月16日(日)、秋葉区金津にある里山ビジターセンターにおいて「菩提寺山フェスティバル」が開催されました。みなとぴあからは、6名のボランティアが参加し、みなとぴあのボランティア活動で培った経験を活かし、風上げや兜づくりなどのサポートをしました。



当館ボランティア兼秋葉里山ガイドの会 鎌田誠司さんからひと言いただきました!

最近健康寿命を伸ばそうと国を上げて運動が行われています。私達、秋葉里山ガイドのメンバーもこの機会を活用して、菩提寺山フェスティバルを計画して子供から大人まで参加できるイベントを行ない、秋葉丘陵の活用・金津地区の活性化の一助となればと思いますフェスティバルを計画しました。子供さん相手のイベントになれているみなとぴあのボランティアの参加をいただき多数の参加者を見ることができました。1回目のイベントとしては、1000名以上の参加者があり大成功の盛況でした。あらためて感謝致します。

秋葉里山ガイドの会 鎌田誠司

【編集後記】

今回は、歴史探訪を中心に紹介しました。私にとってはじめての歴史探訪でしたが、参加者たちと一緒に発見の喜びを共有できることのすばらしさを身に染みて感じました。これからも、歴史探訪のようなボランティアそれぞれが持っている知識を共有しあえるような場を作っていけたらと思っております。(鈴木)

2018.6.15 現在

みなとぴあ歴史発見プロジェクトは、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、まもなく開港150周年を迎える新潟の街をみんなで盛り上げていこう!という事業です。

「みなとぴあ歴史発見プロジェクト」は、下記の地域の企業・団体のみなさんからご協賛をいただいています。

